



町長回誌 No.102

町長日誌の第102号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

2月21日(火)

2月は「逃げる」とも言いますが、1月が終わってあっという間に3月が近づいてきた感があります。猛威を振るっているインフルエンザも町内では1月から今月にかけてかなり感染した方が多かったようですし、保育所をはじめ小学校から高校まで学級閉鎖や休校のところもありました。寒さもいつもよりも厳しいようですが、少し春めいてきて寒暖の差が案外大きく体調を崩しやすい今の季節ですので、やはり予防としては、「手洗いとうがい」に勝るものは無いようです。

1月26日(木)

佐呂間町を会場に管内町村会の専門委員会の一つである「農林水産専門委員会」が開催されました。今回は管内農協組合長会・漁業協同組合長会・森林組合協議会の代表者、つまりは管内1次（農・林・水）産業のリーダーに出席していただき、昨年の状況やこれからの課題、TPPの問題などについて熱心に議論が交わされました。特に、農協組合長会会長からは「今後は、定期的に産業界の代表と行政の代表とが意見交換できる場を作りたい」と言うご提案が出され、オホーツク管内が十勝に負けない発展をするために連携して取り組むことで意見が一致しました。

1月31日(火)・2月1日(水)

国保病院の改築に向けた基本構想の素案が出来ましたので、31日は沙留公民館、1日は興部公民館で「意見を聞く会」を開催しました。悪天候にもかかわらず大勢の皆さんが出席してくださり、様々なご意見や質問を頂きました。大半の皆さんが病院改築にはご賛同頂けたようですが、興部町には介護施設が無いことから、そのことに対するご意見が多く出されました。この「意見を聞く会」は、3月定例議会終了後にも開催を予定していますので、ご参加をお願いします。

2月1日(水)

約2年をかけ合併協議してきました興部・雄武両農協が、今日合併し新生「北オホーツク農業協同組合」として発足しました。午前11時からのテープカットと発足式に招かれ、祝辞を述べさせていただきました。この合併で生乳生産量約8万トンと管内でも上位の生産量となります。産業界は、戦略の世界であり利益とコストを常に考えた組織運営が必要で、合併のメリットだけでなく多くの課題やマイナスの部分もありますが、生乳生産の基盤をこの合併でより強固にしたものと思います。本当の成果は5年10年経たなければ分からないと思いますが、本所が興部町に来たことは、町内の活性化にもつながるものと考えます。

2月14日(火)

商工会主催で、「農商工連携セミナー」が開催されました。このセミナーは、「無印良品」の商品開発を行っている中田哲夫さんと、全国で様々な町づくりデザインやブランド化を手掛けてこられた武蔵野美術大学宮島慎吾教授に今まで取り組んでこられた商品やプロジェクトについて詳しくお話をいただきました。セミナーの後、懇親会を行い興部町の特産品を試食していただいたところ、両先生から「こんなに美味しい物が、しかも沢山ある町だとは知りませんでした。」と驚きの声を上げておられました。町としましてもこういう専門家のお力もいただき興部の商品の魅力づくりと発信力・販売力を高める努力をしていきたいと考えています。

2月26日(日)、僻地小学校最後となった豊野小学校の閉校式が行われる予定です。また一つ歴史の幕が下ります。さて、間もなく高校受験そして卒業式や転勤の季節を迎えますが、まずは、皆さん元気にお過ごしください。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。